

「新ドギーバッグ（持ち帰り容器）アイデアコンテスト」 ネーミング部門審査結果について

審査結果

(1) 入賞者

○最優秀賞

「おあげんせバッグ」

・ 広畑 えみ（東京都）

岩手の方言の「お食べください」「お召し上がりください」の響きが素敵なので。またシンプルでわかりやすさも重視しました。

・ 大森 いずみ（北海道）

家で召し上がれ(≧◇≦)

・ 永瀬 光平（盛岡市）

食べ切れなかった料理を、「持ち帰って、美味しく・楽しく召し上がれ」という意味を込めて、方言の「おあげんせ」とバッグをくっつけてみました。

・ 山田 凌大（群馬県）

1人でも多くの方にドギーバッグを親しんでいただきたいという想いを込めました。

【ネーミング部門選定コメント】

「おあげんせ」（召し上がれ）という岩手の人ならだれもが知っている方言を取り入れ、親しみやすさや、相手に対する心づかいが感じられる岩手らしさが選定のポイントです。

○優秀賞

「ぺっこぱっく」

- ・コヤマ カオル（兵庫県）

「少し」持って帰るという意味で、かわいい言葉だと思ったためです。

- ・角田 詩織（滝沢市）

岩手の方言である「少し」を使って、持ち帰る時の容器「ぱっく」とすることで語感を整えてみました。また、少しという言い方をすることで、自分も少しフードロスへの取り組みに寄与しているという控えめな、でも大切な意識を持ってもらうことを考えました。

さらに、全てひらがなにしたのは子どもにも親しみやすく、多くの人に読んでもらうことを想定しています。

- ・梅川 英子（秋田県）

岩手のある地域では「少し」のことを「ぺっこ」と言うそう。

「少し」残ったものを家に持ち帰れば、「小さな」ごちそうが一品できます。少しでもたくさんの方がフードロスに感心をもってくれることを願います。

- ・佐藤 敬子（盛岡市）

岩手の方言で「少し・ちょっと」を意味する「ぺっこ」と、「包み・小さい箱」などを意味する「パック」を組み合わせ、「気軽ちょっと持ち帰りができる容器」として名付けました。

「IWATE箱」（いわてばこ）

- ・八重樫 由美（盛岡市）

玉手箱ならぬ岩手箱。家にもち帰って、開けて食べよう！
開けても年を取らない美味しい箱です。